

# 私たちの活動を紹介します

倉吉市

## とっとり県美応援団

<リーダー>佐伯健二さん

<設立>平成30年

<会員数>個人85人と15団体

<事務局>琴浦町赤碕400-6

TEL 0858-55-0803

<公式ホームページ> <https://tkenbi-ouendan.jp/>



子どもたちを案内するボランティアを養成中

### 県立美術館を日本一の美術館に

長年凍結になっていた鳥取県立美術館が動き出し、建設場所が倉吉市内に決まった時の感激と決意は、今も忘れてはなりません。倉吉市を中心とする県中部は、鳥取県で一番人口が少ない地区ですが、地方創生の今の時代、ここはまず地元住民が真っ先に立ち上がる時です。日本一の県立美術館になるように応援活動を続けています。

### より多くの県民を巻き込みたい

平成29年、島根県出身の澄川喜一さん（東京芸大元学長、東京スカイツリーのデザインでも知られる彫刻家）を招いた講演会が鳥取短期大学で開かれました。そこで澄川さんが指摘された「地元の熱意が成否を左右する」という言葉に強く心を動かされ、講演後すぐに、澄川さんが館長をしている島根県芸術文化センター「グラントワ」（益田市）を視察する計画を立てました。周囲に声を掛けると、あっという間に40人近くが集結。グラントワでは市民が運営ボランティアとして生き生きと活動する姿に大変刺激を受け、その勢いで今日に至っています。

その頃、中部地区の4市町や経済界、文化団体、



美術館に隣接する大御堂廃寺跡に関する勉強会

住民など幅広い層が参加した「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」が設立されました。私たちはこの組織の中の応援部会として、より多くの県民が参加できるように「とっとり県美応援団」という愛称を付けました。

### 工夫を凝らしてボランティアを養成中

活動は、県立美術館を建設・整備し、運営する側である県立美術館整備局、県立美術館パートナーズの行政組織などと協働して進めるようにしています。開館後は県内の全小学校4年生による見学が予定されており、子どもたちを案内するボランティアの養成は必須です。そのための研修を重ね、開館を機に倉吉・中部地区を訪れるであろう多くの県内外のお客さんにも説明や対応ができるように、大御堂廃寺跡などの美術館周辺の文化財や地域の魅力について学ぶ活動も続けています。

さらに、各地の美術館を見学する「パワーアップ研修ツアー」は、団員以外にも呼び掛け、大型バスに乗り合わせ毎年実施しています。会員の芸術に対する知識や力量のアップとともに、「県立美術館の成功のために何か役に立ちたい」という思いをみんなまで共有し、持ち続ける機会でもあります。

3月31日は開館1年前カウントダウンイベント「どんどこ！巨大紙相撲～とっとりけんび場所～」の運営応援に参加しました。受付をしたり、出場者を誘導する団員の姿は、実に楽しそうでした。

### 一緒に活動してくれるメンバーを募集中

県立美術館は令和7年3月30日にオープンします。私たちは初心を忘れず、「元気」「愉快」「楽しい」を合言葉に、笑顔で応援活動を展開していきます。みなさん、一緒に活動をしませんか。